



### 三階道雄 (公明党)

- 1.気候非常事態宣言とエシカル消費の推進について
- 2.若者の声が届く多摩市に

- 問** 多摩市は早くから気候非常事態宣言を表明した。さらなる市民への周知とエシカル消費(人や環境に配慮した消費行動)の推進が必要であると考えがいかがか。
- 答** 啓発やエシカル消費など大事な視点である。推進に努めたい。
- 問** エコな取組で、グリーンライフ・ポイントと言った特典のある制度や、友好都市・富士見町との自然体験教育。またホストタウン・アイランドとの共同環境事業など提案するがいかがか。
- 答** ポイント制度は来期の国の取組。何が出来るか検討する。友好都市などとは具体的にどういことができるか検討したい。
- 問** 東京都が奨学金の補助事業を始める。また企業による代理返還制度も始まった。企業への周知と推進が必要ではないか。
- 答** 機会を捉え取組んでいく。
- 問** コロナ禍により、在宅ワークや自宅学習が増えた。公共施設も利用できるよう環境整備をすべきと考えるがいかがか。
- 答** ニーズを調査し検討する。



### 橋本由美子 (日本共産党)

- 1.公共交通での利用者の安全対策…障がい者・高齢者の視点から
- 2.選挙は民主主義の基本

- 問** 聖蹟桜ヶ丘駅東口に遠隔案内システムが設置され、駅員がいなくなった。利用者へのサービス低下ではないか。
- 答** 市にも連絡はなかったが、鉄道事業者の状況は理解できる。利用者が安心できるよう要望はしていきたい。
- 問** 視覚障がい者、高齢者には駅員対応は必要。車内のトラブルにも駅員対応は必要。あくまで、市民の安全を守る立場で声をあげていただきたいがいかがか。
- 答** 今後も市民の声を伝えていきたい。
- 問** 永山駅北口は水たまりができ、冬は凍って滑るので改良をしていただきたいがいかがか。
- 答** 引き続き管理者と協議していきたい。
- 問** 選挙の投票は有権者の権利。現在要介護5しか認められていない郵便投票を要介護3に広げてほしい。見解を伺う。
- 答** すでに全国の選挙管理委員会も改善を求めている。さらに対象者拡大を求めている。
- 問** 入場整理券は家族単位から個別郵送にしてほしいがいかがか。
- 答** 今のところ家族単位の郵送を変える予定はない。



### いちぢ恭子 (ネット・社民の会)

- 中央図書館の完成と新たな図書館ネットワークについて

- 問** 中央図書館ができることで何が変わるのか。
- 答** 開架部分で現在の約2倍となる20万冊の蔵書を予定している。また、資料を集中させレファレンスサービスの充実を図る。
- 問** 他の6館との連携はどうなるか。
- 答** 拠点館・地域館を支える中央館という位置付けで、総合的な図書館ネットワークの整備を進める。
- 問** 建物は細長い弓型の構造だが、きちんと職員の目が届くよう配慮が必要ではないか。その点も含めて万全の人員体制を敷いてもらいたい。防犯面と併せてどのように考えているか。
- 答** カウンターの配置等に配慮している。
- 問** リニューアルされるパルテノン多摩、多摩中央公園と関連させる計画はあるか。
- 答** パルテノン多摩4階に開設予定の子ども中心の広場には、まとめて図書を貸し出す他さまざまな連携を考えている。公園内の“緑陰読書”も想定して整備中である。



### 藤條たかゆき (新政会)

- 1.10万円給付は何のため！？～子どもには、継続的な支援こそ必要～
- 2.ネットいじめの実態と予防について

- 問** 10万円給付の実務は基礎自治体が担うので、出来るだけ効率的に取組み政策効果を最大化することも必要である。わざわざクーポン発行で工数を増やして使い方の選択肢を狭めることに多くの税金を投入するべきではなく、全て現金給付にすべきと思うがどうか。
- 答** メリット・デメリットを勘案して検討したい。
- 問** 子どもたちがネットリテラシーのない無防備なまま、ネットの中に居場所や繋がりを求めてしまうとトラブルに巻き込まれるリスクが高まる。ICT機器が全ての子どもたちの身近に備わった今、一定水準の情報リテラシー教育を早期に行い、「集団免疫」をつけることが未然の予防に繋がる。ネットとの正しい付き合い方を教えること、そして使い方のルールを押し付けるのではなく子どもたちと一緒に考えることが大人の役目と思うがどうか。
- 答** 各学校にて「セーフティ教室」を開催し、SNS利用の家庭でのルール作成について啓発を図っていきたい。

